

「ナイトタイムエコノミーの振興について」

2024年5月29日

株式会社日本総合研究所

調査部 高坂 晶子

1. 夜間帯の観光振興の必要性

(1) コロナ後のわが国観光の課題

- 旅行スタイルの変化: 個人旅行の増加 → ツアーの採算性、施設稼働率の低下
- 対策: 未活用資源の利用率向上 = 夜間帯の観光: ナイトタイムエコノミー(NTE)の振興

(2) わが国NTEの現状

- 夜間の過ごし方の選択肢が不足
- インバウンドニーズの受け皿不足 (アンケートでは「日本の夜はつまらない」)
- 観光庁によるNTE振興 → コロナ禍で頓挫

(3) NTE振興のメリット

- 一人当たり観光消費額の引き上げ
- わが国観光の国際競争力、ブランド力の向上
- 雇用創出など地域経済活性化

2. ナイトタイムエコノミー（NTE）の概要

(1) ナイトタイムエコノミーとは

- 観光庁「18時から翌朝6時までの活動全般、消費活動 + 社会インフラ、公共サービス

(図表2) ナイトタイムエコノミーの様々なタイプ

(2) 近年のNTE

- 豊富なバリエーション

【特徴】

- 能動型コンテンツ
- 既存資源の転用
- 日常シーンの観光化

分野	主要施設の例	特徴的な体験や事例
飲食	レストラン・バー、居酒屋、屋台	地元食材・調理法を活かした料理、常連客との交流
音楽（鑑賞）	コンサートホール、ライブハウス、ジャズバー	優れた演奏、地元ファンとの交流
音楽（実行）	ディスコ、クラブ、カラオケ	ダンス、歌唱
舞台芸術	劇場、演芸場、映画館、ホール、（公園・広場）	映画演劇、解説付きの能楽・歌舞伎や落語・漫才
美術等	美術館、博物館、図書館	時間外に展示物鑑賞、詳細なガイドや飲食
動植物園	ナイトツアー、お泊りイベント	夜行性の動植物を観察
アミューズメント施設	遊園地、テーマパーク、プール	混雑を回避、キャラクターと交流
スポーツ（鑑賞）	競技場、スポーツバー	スポーツ観戦、地元ファンとの交流
スポーツ（実行）	スキー場、ボウリング場、フィットネスジム	運動でリフレッシュ
ゲーム	ゲームセンター、eスポーツ	eスポーツは鑑賞も
リラクゼーション	美容院、エステ、スパ、ヒーリング、ヨガ	昼間は観光し夜間を有効活用、疲労回復
クルーズ	屋形船、水上バス、ナイトクルーズ	渋滞無しに夜景を鑑賞、飲食の提供
イルミネーション	公園、街路、店舗、海・川	プロジェクションマッピング、伝統的な灯籠流しも
地域行事・祭り	祭り、盆踊り、縁日・夜店	背景や伝承の解説、行列等への参加
夜景・ライトアップ	花火、蛍、夜景、桜・紅葉、公共建築、城郭	高台、高層階から見学、季節限定のイベントも
空	星空、天体イベント（彗星・日月食等）	周囲に電灯が少なく暗い夜空など鑑賞の適地
ユニークベニュー(注)	歴史的建造物、寺社、橋、駅、砂丘他	ショー、コンサート、ライトアップ等イベント開催
その他	パレード、商店街等の散歩、生活体験	ハロウィン、昔話の鑑賞や炉端等で住民と交流

(資料) 観光庁資料等に基づき日本総合研究所作成

(注) 当該施設でイベントや会議、レセプション等を開催することで、特別感や地域特性の演出が可能となる伝統的建築物や公園

3. NTEに関する政策動向

(1) 政治・立法の動き

(図表3) ナイトタイムエコノミーをめぐる政治・立法の動き

年月	事項	備考
1999	石原都知事 お台場カジノ構想を表明	
2015.6	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律 改正	ダンスクラブ等の規制見直し、2016年度施行
2016.12	特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律 (IR推進法) 成立	カジノの解禁
2017.4	時間市場創出推進議員連盟発足	通称はナイトタイムエコノミー議員連盟
2018.7	特定複合観光施設区域整備法 (IR実施法) 成立	IRの具体的運営、監視体制等を規定
2018.7	ギャンブル等依存症対策基本法 成立	

(資料) 木曾崇「夜遊びの経済学」その他に基づき日本総合研究所作成

(注)IR=カジノや国際会議場、ショッピングモール等の複合施設

(2) 政府によるNTE振興策

(図表4)政府のナイトタイムエコノミー関連施策

年度	名称	内容
2015	内閣府「ゆう活」キャンペーン実施	働き方改革の一環として早期退社を奨励
	経産省「プレミアムフライデー」導入	最終金曜日の早期退社奨励、小売り・飲食店は優待
2017	観光庁「楽しい国 日本」の実現に向けた観光資源活性化に関する検討会議	
2018	観光庁、夜間の観光資源活性化に関する協議会開催	
2018	観光庁、最先端観光コンテンツ インキュベーター事業	夜間観光のモデル事業4件を実施(注)
2019	観光庁、最先端観光コンテンツ インキュベーター事業	分野5としてナイトタイムエコノミー推進事業13件
2020	観光庁、夜間・早朝の活用による新たな時間市場の創出事業	コーチング事業として31件実施

(資料)観光庁ウェブサイト等に基づき日本総合研究所作成

(注)最先端観光コンテンツインキュベーター事業全16件の一部

4. 東京の優位性

(1) 豊富な観光資源

- 飲食店、エンターテイメント・アミューズメント施設、スポーツ施設、商店・サービス業等
- 様々な様式の(伝統的)建築物があり、**ユニークベニュー**としての活用も
- 神社仏閣や公園が街中に点在、**祭り**などのイベントも盛ん
- 商店街や飲み屋街など**魅力的な生活の場**も
- 郊外を中心に豊富な自然も

(2) NTEを楽しむ環境の充実（地方都市との比較において）

- **多言語対応**によるサービス
- 営業時間が長い
- **移動の利便性**: タクシーが豊富、公共交通が比較的遅くまで運行

◆ 夜間早朝でも安全な社会環境と相まって、東京のNTEには高い優位性

5. 今後の留意点

(1) 豊富な観光資源が届いていない

- 東京のNTEコンテンツは豊富だが、インバウンドに届いていない？
- 小規模イベントを含めた情報提供・案内、予約、決済、行き方や前後の過ごし方までカバーする**多言語プラットフォーム**の構築が望ましいのではないか

(2) 「暮らすように旅する」状況への対応

- 観光の主流は、従来の名所旧跡めぐりから、**日本ならではの各種体験**へとシフト
- 日常生活への関心は高く、インバウンドは地域社会に積極的に足を踏み入れる傾向
- 住民の休息の場や時間がNTEの舞台となるため、**トラブルが発生する恐れが増大**

(3) NTE事業者と地域社会が話し合う仕組み

- 従来、NTE関連事業者と地元コミュニティとの関係は親密とは言い難い
- 今後は、地域社会・住民との関係構築が重要に
- トラブル等が起きる前から**意見交換・協議する仕組み**の導入が望ましいのではないか

5. 都市圏におけるNTE振興 ①

(1) 事業環境の特徴と課題

- 特徴: 充実したハード、厳しい競争環境、感染リスク
- 課題: 多彩なメニューと観光客ニーズのマッチング、予約・切符手配、アクセス

(2) 取り組み事例

①時間外ツアー（東京国立博物館）

- 日本有数の収蔵品・設備、アクセスも良好、NTEでの活用に期待
- NTEの実施状況（図表5）

夜間には、**教育的催しは行われず**
立地・建物を活かしたイベントが中心

- NYのNTE事例: ワイン付きVIPツアー
- 東京国立博物館の課題:

収蔵品や専門職員など本来の魅力を活かす

（図表5）東京国立博物館の催し物の開催状況（2019年度）

項目	回数	うち17時以降
講演会・講座	23	0
シンポジウム	2	0
ギャラリートーク	83	7
ガイドツアー	269	0
ワークショップ	25	0
コンサート	16	9
イベント	38	9
親と子のギャラリー	0	0
ミュージアムシアター	7	0

（資料）東京国立博物館ウェブサイトに基づき日本総研作成

（注1）1日に複数回実施される催し、複数日にわたる催しは1回とカウント

（注2）17時以前に開始され、終了が通常の閉館時間を過ぎる催しを含む

（注3）複数項目に重複カウントされる催しがある

（注4）ミュージアムシアターは館内設置の4Kスクリーンを使ったVR体験

5. 都市圏におけるNTE振興 ②

(2) 取り組み事例（続き）

②地元密着型飲食店を楽しむ（山手線大塚駅前商店街、2018年度モデル事業）

- **生活感ある**商店街・飲食店への来訪がインバウンドに人気
- 豊島区提案の「**地元飲食店街へのインバウンド送客事業**」を、観光庁が助成
- 優待付き多言語マップの配布、留学生による案内窓口、警察と商店街による巡回活動
- **地元の役割分担が鍵**＝宿泊施設は案内・送客、商店街は受け入れ態勢の整備

③ライトアップ・イルミネーション（長崎県長崎市、2018年度モデル事業）

- ライトアップイベントの大半は無料→→**地元メリットの創出**が課題
- 長崎市提案の「**市内での観光消費喚起事業**」を、観光庁が助成
- 長崎市郊外アイランドリゾートのライトアップと組み合わせた**宿泊・飲食・クルーズ商品**
- **国外プロモーション**や**受け入れ態勢の整備**に課題

6. 地方圏におけるNTE振興 ①

(1) 事業環境の特徴と課題

- 特徴:ハード・人材・資金不足が深刻、感染リスクは低い
- 課題:季節性や自然環境、郷土資源など**地方圏の魅力を活かしたコンテンツの開発**

(2) 取り組み事例

①キャンプと自然体験（長野県野沢温泉村、2020年度モデル事業）

- スキーを柱とする観光地、**グリーンシーズンの集客が課題**
- 野沢温泉村と援農NPO提案の「富裕層向け自然体験ツアー」を、観光庁が助成
- 観光客のキャンプ・自炊体験をスタッフが手厚くケア、豊富な自然を体感
- インフルエンサーを招待したモニターツアーを実施
- 高価格にも拘わらず予約段階で完売、体験後の評価も上々
- 課題は今回獲得した**富裕層のリピーター化**、新たなコンテンツ開発

6. 地方圏におけるNTE振興 ②

(2) 取り組み事例（続き）

②伝統文化体験（宮崎県高千穂村）

- 伝統文化体験：観光客は地域のユニークさを実感、地元はシビックプライドを再確認
- 高千穂の夜神楽：農閑期に徹夜で神楽を奉納、開催場所・アクセス・所要時間がネック
- 高千穂町の工夫：ダイジェスト版の夜神楽を年中無休、低価格で開催し、宿泊に誘導
- 昼間帯消費額の引き上げ＝例)高千穂峡のボート料金的大幅値上げ

③地域に伝わる伝承体験（広島県三次市、2020年度モデル事業）

- 伝承を活かしたNTE：街歩きによる消費喚起、地元住民との交流を促す
- 三次市提案の「もののけ+ハロウィンイベント」を、観光庁が助成
- 広域的な企画とアクセス支援により、交通の不便な三次市への集客を促進
- 子供向けの第一会場と大人向けの第二会場を設け、開催時間延長と消費喚起を実現

7. NTE振興のポイント

(1) マネタイズ

- 無料、もしくは低額で提供されている観光資源・サービスの料金を見直す
- 料金設定に見合った内容とするため、**コンテンツの磨き上げが重要に**

(2) 関連サービスによる高付加価値化

- 関連商品・サービスを充実し、**高付加価値に見合った価格設定を実現**
- 多言語通訳、専門ガイド、バックステージツアー、メインコンテンツに因む飲食・土産等

(3) カスタマージャーニーへの配慮

- 旅に出る前の段階から帰宅後に至る個人の観光行動と心理を踏まえたサービス
- 予約・決済、交通機関の手配などに係るストレスを軽減し、**顧客満足度を高める**

(4) 受入側コミュニティへの配慮

- NTEは生活上のトラブルを呼びやすく、周辺コミュニティへの配慮が必要
- 生活体験や郷土色を活かすNTEが増え、**地域事情に精通した住民の協力が重要に**